147 ニュウナイスズメ

(スズメ目)

Passer cinnamomeus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:一 通過個体群:-

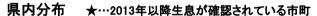
環境省ランク:

種の概要

アフガニスタンからヒマラヤ、南アジア北東部、インドシナ半島北部、中国南・東部、朝鮮半島、サハリン、千島列島、日本などで繁殖し、北方のものは繁殖後に温帯域に渡り、越冬する。日本では主に本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬する。落葉広葉樹林や疎林、農耕地、ヨシ原などに生息する。秋から冬にはイネ科植物の種子などをよく採食するが、繁殖期は昆虫やクモなどを採食する。

国内分布

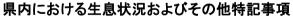
北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中部、栗島、佐渡、舳倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、 甑島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



★神戸市、姫路市、★明石市、洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、多可町、稲美町、★神河町、★上郡町、★佐用町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら環境・	局地的繁殖	希少



ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に11-翌4月に生息する。県南部の農耕地や林縁でよく観察されている。1987年1月三木市200羽、1994年10月たつの市400羽、2006年4月神戸市100羽、2022年4月神戸市150羽など、比較的大きな越冬個体群の渡来も少なくない。しかし、2014年5月に香美町鉢伏高原で繁殖が確認され、2017・18年にも繁殖活動が観察されていることから、今後の動向に注目する必要があるため、繁殖個体群について要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の繁殖地の自然環境を極力保全することが重要。



写真提供:北野光良

(性別:オス)



写真提供:北野光良

(性別:メス)